



ラジオの生放送で沖縄の基地問題などを発信する木村朗さん
＝1月20日、沖縄県宜野湾市

「本土」の元教授 沖縄で矛盾発信

木村朗さん(68)

大学教授を定年退官後にジャーナリストに転身し、インターネットメディアで「沖縄問題」を発信している研究者がいる。鹿兒島大名舎教授の木村朗さん(68)は北九州市出身。昨年4月に「独立言論フォーラム」(ISF)を開設、編集長を務める。「日本の矛盾が集中している」と沖縄県を拠点に、米軍基地問題の解決や恒久平和の実現を訴えている。(那覇駐在・野村創)

鹿兒島大定年後、ネットメディア設立

基地問題「認識の差埋めたい」

「こんにちは。パーソナリティの木村です」
1月20日の午前10時。木村さんは慣れた口調で話し始めた。週一回、コミュニ

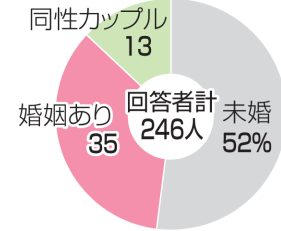
ティールラジオ「FMぎのわん」(宜野湾市)が生放送する「沖縄平和トークングラジオ」。この日は平和運動家をゲストに、南西諸島の防衛力を強化する政府の「南シフト」への反対運動を紹介した。

「本土の人は私たち沖縄人の本当の感情、心の痛みを分かっている。将来的には他国のネットメディアと連携し、多言語で発信したい」。取材に営業に、毎日飛び回る。

ラジオ番組はISFの活動の一環で、木村さんらメンバーが出演し、放送時の動画をISFのホームページで公開している。「ラジオと連携してISFを発信する狙い」だという。

専門は平和学で、鹿兒島大では原爆や核問題を研究した。20日午後2時半ごろ、長野県小谷村の梅池高原スキー場北側のコース外で雪崩が発生した。県警によると、外国人の男女5人が巻き込まれ、男性2人が意識不明

クリオス・インターナショナル
精子バンク利用者の内



ることを希望する個人や医療機関から精子を提供する。凍結精子が入ったストローと呼ばれる容器1本当たりの価格は運動精子の数や、身元開示ドナーが非開示ドナーかといった条件で異なり、1万円以下から10万円台と幅広い。ただ、国内では日本産科婦人科学会が営利目的の提供への関与を会員医師に禁じており、人工授精や体外受精を受けられる医療機関は極めて限られる。

のままだ山中に取り残された。20〜40代の3人が下山し、20代の男性1人が右肩脱臼の軽傷を負った。県警は30日朝から捜索する。県警によると、雪崩は白



「沖縄の問題はなかなか全国で大きなニュースにならず、本土の人は沖縄に関心を持たない。認識の差を埋めたい」。鹿兒島大を20年に退官し、22年に知人の経済人や学識経験者と共に基地問題解決や対米自立を掲げ、ISFを開設した。

月のうち20日間は事務所がある那覇市に滞在。1週間ほど東京で取材し、家族が暮らす鹿兒島市に帰るのは数日という生活が続く。南シフトへの抗議集会を撮影し、基地周辺の水質汚染や沖縄戦をテーマにしたインタビューを重ねてきた。

新型コロナウイルスや原発問題も取り上げ、外部ライターへの依頼も含め掲載した動画や記事は千本を超えた。安定的に運営するために必要があり、今年を「勝負の年」と位置付ける。「若者にもアプローチしてまずは国内で定着させる。将来的には他国のネットメディアと連携し、多言語で発信したい」。取材に営業に、毎日飛び回る。